

平成27年度 第5回 美保飛行場周辺まちづくり計画検討委員会 議事録

日 時 平成28年3月12日（土）午前10時～11時40分

場 所 境港市民会館大会議室

出席者 【委員会委員】

丸田委員（委員長）、池淵委員（副委員長）、増谷委員、木村委員（欠席）、安倍委員、足立委員、松本委員、梅木委員、湯越委員、永井委員、角（俊一郎）委員、梶谷委員、角（勝子）委員

【オブザーバー】

中国四国防衛局企画部周辺環境整備課（藤川課長補佐）

中国四国防衛局美保防衛事務所（宮ヶ原所長、笹岡所付係長）

美保通信所（池淵事業班）

【事務局】

木下市民生活部防災監、藤川教育委員会事務局長、黒崎生涯学習課長、山田自治防災課長、手島自治防災課危機管理室長、園山都市整備課建築指導係長、浜田生涯学習課生涯学習係長、竹内生涯学習課文化体育係長（欠席）、古徳教育総務課管理係長

【コンサルタント】

中日本建設コンサルタント株式会社（吉見課長、名知主査）

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 委員紹介

4. 報告事項

（1）市民説明会について

（2）パブリックコメントについて

・事務局 説明（資料1、資料2）

（以下主な意見等 ◇：意見等、⇒：回答、市の考え方）

◇パブリックコメントの18番について、図書館に関するプロジェクトチームをつくる必要があるのではというコメントに対して、考えていないという市の回答になっているが、どうということか。（委員）

⇒図書館に関する意見は、プロジェクトチームという形ではなくても、いろいろ意見を聞くことはできると思っていますので、御理解をいただきたい。（事務局）

◇市民説明会の参加者アンケートを見ると、年齢が50歳代以上の人しか参加していない。今後は是非、40歳までの方も参加するよう働きかけてほしい。（副委員長）

- ⇒市議会からも同様に、若い方の意見を取り入れる方法を考えるよう要望が出されており、高校生や子育て世代の方の意見を集める機会を設ける方法について、今後、検討していきたいと考えています。(事務局)
- ◇私からも、是非、若い方の意見も実際の設計、ものの形ができていく上でのワークショップなどで取り入れていただいたらよいと思う。(丸田委員長)
- ◇先ほど、図書館について意見があったが、同様に、ステージでは音楽、演劇でも、本当に細かな工夫があればよいところもある。また、会議室でも、間仕切りや展示についても、レールやワイヤーなど、それぞれの活動をしておられる人の意見を集めていくと良いと思う。(委員)
- ⇒利用する側、使う側から、それぞれ意見を聞きながら、基本設計では、より皆さんが集い、にぎわいやすいような施設にしていきたいと考えています。(事務局)
- ◇パブリックコメントだけの資料を見ても、わかりづらいと思う。基本計画案を初めて見た場合はわかりづらいと感じた。結果だけではなく、途中経過を入れることはできないか。(委員)
- ⇒市では、基本計画が取りまとめれば、市報等で美保飛行場周辺まちづくり基本計画の概要を掲載し、広くお知らせしようと考えています。(事務局)
- ◇市が市民に市報等でお知らせするとき、美保飛行場周辺まちづくり基本計画という名称でお知らせしているが、これでは、図書館やホールが新しくなるということが分かりづらい。市報でわかりやすくお知らせしてほしい。(委員)
- ⇒市報やホームページに出すときには、題名としては、「美保飛行場周辺まちづくり計画」になりますが、文中には必ず市民会館の建替えのことだと書くようにしています。題名だけ見るとわかりにくいというところがあるため、今後は、検討します。(事務局)

5. 協議事項

(1) まちづくり基本計画のまとめ

・事務局 説明(資料3)

(以下主な意見等 ◇:意見等、⇒:回答、市の考え方)

- ◇今後、設計で具体化していく中で、それぞれの専門分野の方の御意見を聞いて、細かい点を取り入れていただければと思っている。それと、若い方の意見を本当に集約する機会を特別に持っていただきたいと思っている。(委員)
- ◇表紙の写真について、せっかくなら、美保飛行場の管制塔を中心とした何か広々とした景色のような広さを感じさせる写真があれば、明るい未来という雰囲気ができる。(委員)
- ◇計画は、提出するものであり真面目なものをつくらなければいけないとは思いますが、一般市民には、もう少し見て楽しい、キャッチコピーみたいな感じで、期待感がわくものになればと思う。(委員)
- ◇今回、イラストがとてもわかりやすくなった。それから、内容については、今までずっ

と検討してきたことですので、先ほど言われましたようなものができればいいと思う。
(委員)

◇幾つか追加、変更、修正していただきたい箇所がある。

P15「図書館としては、さらなるブックスタート事業の支援や図書館を活用した子育て世
代の交流事業を推進していきます。」と修正したら良いと思う。

また、「現在の会議棟に入室している機関等については、新館を活用するなど、新たに建
設する複合施設の建設面積を縮減します。」とあるが、かなりの縮減になるのか。「新た
に建設する複合施設の一部として活用します。」との表現でどうかと思う。

次に、P15 中段で、「当市も現在の蔵書数 15 万冊を維持します。」とあるが、本は増えて
いくわけで、余裕を持ったスペースがほしいと思う。

次に P16 で、イの規模等の図表のところ、開架 10 万冊程度、その次に、自衛隊防災関
連図書コーナーとあるが、やはり、その下の児童図書コーナーを上に入れ替えていた
きたい。

次に P27 で、図書館の導入機能について、大事なものから並べていただきたい。学校図
書館支援、市民の学習や企業などへの支援、読書会、子育て支援というふうに並べて、
各種展示コーナーとか自衛隊の防災関連コーナーなどは、下に順番を入れ替えてほしい。

次に P31 で、管理運営のことで、図書館は指定管理にしないでほしいと申し上げてきた。
3 番目の「複合施設のメリットを生かして施設の一元的管理を行うとともに維持管理費
の縮減を図ります。」とあるが、ここで一元的管理となると、複合施設全体の管理運営が
一元的になってしまうというイメージは拭い切れない。この一元的管理というのを限定
して、維持管理にしていきたい。

それから、ホールの正面に人間国宝・備前焼の藤原啓さんのレリーフは本当に貴重なも
のであるということ。それから、もう一つ、オブジェのような勅使河原蒼風さんのもの
が正面にある。これらを新ホールに生かすよう考えていただきたい。(委員)

⇒図書館については、いただいた意見を参考に表現と順番とか改めたいと思います。維持
管理のところは、どういう表現が適当か調整させていただきたいと思います。最後に言
われた備前焼き等については、貴重なものと認識しており、検討しています。(事務局)

◇パブリックコメントで、財政について出ていた。ただ、それを心配する余り、これがな
いと施設は機能しないという線は守っていただきたい。(委員)

◇今まで、いろいろな意見が出て、最終的に今日の形になっていると思う。

言いたい放題みんな好きなことを言っても、予算があり、決まったものがあり、枠があ
る中でやっていこうということである。大変だとは思いますが、より良いものになるよう
にしていきたい。(委員)

◇基本計画については、いいと思う。先ほど委員も言われたが、特にホールなどの場合で、
やはり最低限のラインがあると思う。そのあたりを、予算の厳しい折だと思うが、きち
んとしてほしい。それから、市民に複合施設をわかりやすく説明してほしい。それは、

ワークショップなどでも、固定的なメンバーになってしまうためである。(委員)

◇P7に市民と自衛隊員との交流拠点を入れてもらい、自衛隊員との交流の場をつくるという何を何件かつけ加えていただいたので非常にこれはよい。防災関連については、P17に停電のときに72時間以上連続運転可能な非常用自家発電装置も整備することもつけ加えていただき、この点は非常によかった。自衛隊員ももちろんであるが、奥さん方との交流を密にしたいと日ごろから思っている。竜ヶ山は、自衛隊の官舎から歩いて行かれるところである。(委員)

◇市民説明会等々では、この経費の面がよく出ていて、今回は、全部税込みで、見やすくなったと思う。(委員)

◇駐車場が少ないという意見もあったので、職員駐車場も表示していただくとよいと思う。また、自衛隊との交流について、私ども消防の立場からすると、消防力には限りがある。施設や人員も増やせないのが現状で、災害時に自衛隊の力は多大なものがある。それから、にぎわいを創れる施設があればよいと思う。観光客にも楽しんでいただいて、少なからずお金も落とさせていただくことができればよいなと思っている。(委員)

◇市民説明会の中で、若い方が少ないという意見があった。公民館などで意見を聞く会を設けたらどうか。P16の図書館の説明で、このイメージは、とてもよく大変参考になった。しかし、テーブルや椅子がないため、それらを設けていただけるか。また、P18で境港の市展では、大体100号が10点ぐらいある。100号といいますと戸板2枚ぐらいになる。今、この図では、8号から10号ぐらいの作品が並んでいるように見受けられるが、100号が並ぶスペースがあれば良いと常に思っていた。境港から芸術を発信することが本当に少ない。日本画の院展は、足立美術館か一畑に行かないと見られないので、よく境港の方もそちらで見受ける。境港から芸術を発信して、境港に来てくださることがあったらいいと思う。それから、2月に竜ヶ山に大型スーパーが開店し、竜ヶ山がすごくにぎわってくると思った。(委員)

◇P26で、音楽団体の発表会を入れておいてほしい。(委員)

⇒公民館でも説明会をとという御質問をいただきました。基本構想のときにも、出前説明会で何箇所か説明に出かけて参りました。今後、基本設計になると、具体的な形が出てきますので、いろいろと意見をいただく機会も増えてくると思います。若い方の参加も含めて、説明をする場も考えていきたいと思っています。市民の皆さんから、多く意見を伺いながらいいものを創っていきたくて考えています。2番目は、図書館の図面の中で、椅子、テーブルがないのかという御質問がありました。イラストが非常に簡単に描かれていませんが、これも設計の中で、可能な限り対応できるように考えたいと思います。(事務局)

⇒池淵副委員長からも、分かり易いようにという意見もいただきました。最終版では見やすいものをつくっていきたくて思っていますし、市報では、限られたページ数ですが、分かり易い記載をしていきたくて思っています。それから、今後の計画は、ぱっと目に入っ

て引きつけるというのは大事な視点だと思いますので、可能な限り、強調すべきところは強調する形で最終的な基本計画をとりまとめていきたいと思います。湯越委員からも、やっぱりわかりやすい説明をという意見をいただきました。これも先ほどのお答えと同じになりますが、これから具体的な設計になると、建物のイメージがしやすくなりますので、参加も増えてくるのではないかと考えています。永井委員、梶谷委員から、自衛隊の皆さんが、境港の場合は、特に市民に溶け込んで溶け込んで、非常にいい雰囲気のまちづくりができていているという意見もありましたし、災害時にも、自己完結能力を持った自衛隊が、その力を最大に生かしてもらいたいという意見をいただきました。この検討委員会では、基地があることを踏まえた上で、よりよいまちづくりをするために、意見をいただいたと思っています。財政面についても申し上げましたが、皆さんのそれぞれの立場の熱い思いは受けとめています。ただ、建物はできた後が火の車で、市のほかの施策に影響が出るということはあってはならないことです。市も今、公共施設の管理計画を作っていますが、市民会館についても、市の全体の公共施設の管理の中でどこまでできるかということ、きちんと把握して判断した上で、この施設に対してどう取り組んでいくかということを考える必要があります、それは、行政の責任だとも思っています。皆さん、熱い思いはありますが、ハード面、施設面、機能面だけではなく、内容を良くしていきたいと思っています。(事務局)

◇折しも昨日、3.11 から5年が経ちました。あの地震は巨大な災害をもたらしましたが、影響はまだまだ続きます。何を言いたいかという、あの地震の影響から、ここで地震が起きる可能性も大きくあります。

今の考え方としては、防災が一番重要ですが、次に減災、最後に応災という考え方です。災害が起きて、それに応じる、要はしなやかさです。災害が起きた後をいかに応じていくかという考え方が、この頃よく言われるようになってきました。境港市は、鳥取県西部地震は受けましたけれども、あれは人が死ななかつたから震災にならなかつた。規模は阪神淡路大震災と同じですが、震災にならなかつたことは非常によかつたです。ただ、今後、同様の地震があつた場合、それが震災にならない可能性はないので、そういう面で見ると、はっきり言うと、少しいろいろなところが不安かと思つています。

防災という面において、災害に強い施設ができるというのは、望ましいことと思つています。来年度、再来年度で基本設計、実施設計になっていきます。ただ、基本設計でゆっくり設計をするというわけではなくて、基本設計というのは、ものすごくしっかりものを決める期間であり、実施設計になると、もう何もほとんど変えられない、図面を山のように書いていくという作業になっていきます。予算が決まらないと、それこそやってもしようがないが、もし検討委員会を行うのであれば、市の方と話していきたい。それで、基本設計をやるときには、多分、プロポーザル方式かコンペ方式か決めて、やらざるを得なくなる。コンペ方式というのは、国立競技場でやつたみたいに、何社かにお金を払つて案をつくつてもらつています。プロポーザル方式というのは、提案を受けるやり方であ

り、設計事務所の能力を見て、話し合い、ワークショップをやりながら、基本設計をつくることもします。

大体的場合は、形が出てくると、もう皆さんの興味とか目の色が変わります。想像力が模型を見ると、全然違いますので、その時点になると、若者とか子育て世代の方とか、いろんな方から意見をもらえようになるだろうと思いますけれども、予算というキーワードがどうしてもあるので、ぜひこの最後のページのスケジュールどおりに行くことを心から願っている次第です。内容としては、皆さんの意見をかなり盛り込んだものだと僕も思っていますので、これを着実に実現に向けていくということを望む次第でございます。(丸田委員長)

◇ほかにございませんでしょうか。それでは、この案のとおりとりまとめていくということでもよろしいでしょうか。(了解いただいたということで、)今後の修正は、事務局に一任ということになります。(丸田委員長)

⇒皆さんの任期は3月31日までですけれども、実質、きょうの会が最後になりました。本当に1年間、ありがとうございました。この美保飛行場周辺まちづくり計画というのは、普通なら1つの施設についての検討ですが、複合施設であったり、2つのエリアがあるということで、非常にたくさんの施設について、限られた時間の中で熱心に御議論をいただき、このように計画をまとめることができました。この計画を中国四国防衛局に提出し、書かれた内容が実現できるように一生懸命、要望してまいりたいと思います。そして、来年度からは、基本設計、再来年度には、実施設計と入っていくわけですが、先ほど委員長も言われたように、形が見えてくると、皆さんも、いろいろと御意見があると思いますので、今後も、御意見をいただき、いいものができるようにしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。(事務局)

◇それでは、これをもちまして、美保飛行場周辺まちづくり計画検討委員会を終了します。実質、半年ぐらい頑張って出ただいて、御意見をいただきありがとうございます。立派なものがつくれていたらと、私、個人的にも思っておりますので、また、境港市に御協力よろしくお願いします。どうもありがとうございました。(丸田委員長)

6. その他

なし

7. 閉会